

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長  
K. R. ラビンドラン 氏

**例会予定** 12月 2日 クラブ総会 会員卓話  
12月 9日 会員卓話

VOL. 53 No. 19(通算No. 2460)

2015年11月25日(水) 例会プログラム

点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
倉沢修市ガバナー公式訪問



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。

鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 11月はロータリー財団月間

例会報告 VOL. 53 No. 17 (No. 2458) 11月11日(水)晴れ (司会 石井康弘委員長)

### 本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話 大子ロータリークラブ

「海外における奉仕活動について」

### ビジター

竜ヶ崎ロータリークラブ 会長 糸賀祥治様 渡利千里様

取手ロータリークラブ会長 長谷 豊様 張貝正美様 飯田藤治様

卓話者 第2820地区 世界社会奉仕委員長 大藤博文様(大子ロータリークラブ)

### お見舞い



#### 取手ロータリークラブ 会長 長谷 豊様

この度の豪雨災害に際しお見舞い申し上げます。本日義援金をお持ちしました。有効に使っていただければと思います。これからも支援はさせていただきます。



#### 竜ヶ崎ロータリークラブ 会長 糸賀祥治様

鬼怒川の決壊で甚大な被害を会員の過半数の方が受けられお見舞い申し上げます。早くお見舞いに来るところ何かとお忙しいと思いい、時期をずらして本日伺いました。復興には時間がかかると思いますが、復興の一助になればと思います。

### 幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 牛久RC 12月7日(月)→12月6日(日)ハイアットホテル(東京) 18時より

### 会長挨拶 海老原良夫会長 11月18日『落穂拾いと間引きの絵馬』<相互扶助と祈りの原風景>



台風18号豪雨災害により未曾有の大災害を被った常総市復興の道のりは遠く険しいものが予測されます。未だ避難所生活を余儀なくされている市民。転出する市民の急増。

水海道RCは今後常総市と共に一日も早い復興に向け地域の再生という直面する課題に取り組みねばなりません。市民の、そしてロータリアンの心の持ち様が試される日々が待ち受けているともいえるでしょう。

歴史を振り返り、かつて常総の人々が行った『落穂ひろいと間引きの絵馬奉納』を通して、その行為の基となった心の源泉にあった思想、教えとは何かを検証してみましよう。

……19世紀前半、度重なる洪水、飢饉のため常陸下総の農村は人口が減少し荒地が増大する所謂農村荒廃現象が進行していた。その荒廃農村の回復、農民生活の安定、生活道徳の安定についての方法が様々

## 11月はロータリー財団月間

な形で現れてくる。

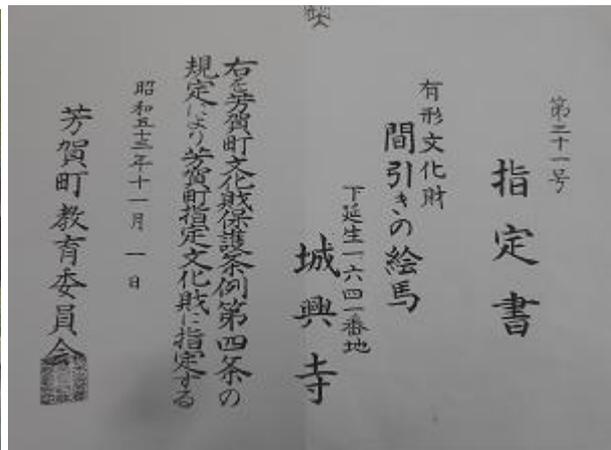
一方の極には強烈なイデオロギーを持つ水戸学、中間には平田篤胤の国学、大原幽学の性理学、下館藩・谷田部藩・青木村・大生郷村に行われた二宮尊徳の仕法。反対の極には成田や下総山川の不動尊の信仰、筑波山麓に住む瓦谷山人臼井教美の道教、下総水海道鈴木頂行の不二道などの民衆運動があって、それぞれ相互に交渉をもちながら庶民の生活道徳の形成を促していた。

水海道の不二道指導者鈴木頂行の遺した『顕善日記』には「文化年中のことであるが、常陸國40ヶ村の不二道の世話人らが中心で、それぞれの村の子供達を頼んで稲刈り後の落穂拾いをして粃で30石余を難渋人に施したことがあり、同じ頃に国恩に報ずるとして荒地開発を行い、村内の手廻りよろしからざる家の手伝いに出るなどした」と記されている。

安政4年(1857)水海道村森下女人講中は栃木県芳賀町の城興寺に『間引きの絵馬』を奉納している。間引きとは一家に子供が多くて養育し難い時に親が自らの世児を殺すことをいう。江戸時代から明治に至るまでの間に、特に貧困な家庭では生まれ出る児が、この世に生きても困窮の中で苦勞させるよりあの世に生まれ変わったほうが却って幸せになれると考え、またその児を間引くことによって家族が生きられるとの考えによって行われた。

水海道村は不二道の教えとして間引きを戒める風潮が行き渡っていたものの、間引きされた児の往生を願って願主(奉納者)水海道村森下女人講中が奉納したこの絵馬は、当時日本の農村各地で行われた悲しい風俗が表現された貴重な絵馬として芳賀町指定文化財となっている。 <2004年11月15日城興寺副住職に取材>……………

2015年鬼怒川決壊による未曾有の大災害に比べることは難しいが、かつて水海道村の村人が水害、飢饉による村の存亡の危機に上述の行動をしたが、その心の源泉に不二道の教えが息づいていたことは想像に難くない。



# 11月はロータリー財団月間

外部卓話 第2820地区 世界社会奉仕委員長 大藤博文様(大子ロータリークラブ)



### タイ東北部周辺の小学校へ 「浄水器等支援事業」

第2820地区コートRC & 第2820地区大子RC共同プロジェクト  
2015～2016 年度  
-この指とまれ提唱-

大子ロータリークラブ

### これまでの経緯と実績

大子RCは、2001年より第2820地区タイコートRCとの共同プロジェクトとしてタイ東部のマウンテン・シマ(清和-ワット)周辺の新しい農村部の6地区小学校を対象に、14年間に207箇字庫の向上、現地の地域発展を目的とし、支援活動をしてきた。これらの地道な活動は、タイコートの人々との信頼は高まり、地域交際にも繋がっているところである。

- 2001年 少年剣道部へボールペン・石鹸
- 2002年1月 メガネ400個
- 2002年11月 通学用自転車40台  
[マウンテン・シマ]
- 2003年11月 通学用自転車40台  
[マウンテン・シマ]
- 2004年11月 通学用Tシャツ  
[マウンテン・シマ]
- 2005年1月 メガネ300個  
「この指とまれ」支援編
- 2007年2月 メガネ200個
- 2008年2月 アフタム式給湯器・  
暖房乾燥ネットシート  
『マウンテン・シマ』
- 2009年2月 防災支援センターに転車防止  
フェンス設置
- 2010年2月 防災支援センターの天井の換気  
子供用トイレ、道具、明探設置
- 2011年2月 小中学校の図書箱 400 冊の  
図書交換
- 2012年2月 メガネの贈呈 計 200 個  
「この指とまれ」支援編
- 2013年2月 地震タリオンボックス  
「この指とまれ」支援編
- 2014年2月 浄水器 7基贈呈  
「この指とまれ」支援編

### 2015～16年度事業

タイ東部の農村部にある多くの小学校には、浄水器が設置されていない。子供達は水をタンク(の蓋はなかに)に貯めた水を飲み、また給食にも水を利用しており、悪質な水により子供の健康に障害が生じている。

大子RCは浄水器支援事業をこれまで2年間コートRCと共同で実施しており、今年度は2地区(バンコクより東北部へ、200～400 km)の4つの小学校に浄水器を設置し、各校の既存の浄水器の改良(フィルター交換、蛇口の修理等)も行う計画です。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

#### 浄水器設置場所

- ①コート東コン郡バーンラン小学校
- ②コート東コン郡  
ノンカーウイタヤ小学校  
バーンラン/マウイタヤ小学校
- ③コート東コン郡  
バーンラン/ヒンコン小学校

バンラン小学校  
大きな手をあらい、  
飲んでいます。

ノンカーウイタヤ小学校  
給水をおこなっています

バーンラン/ヒンコン小学校  
給水をホリタンクに入れています

### 事業費

- 浄水器一式 4基(4校) 1式 10万円 小計40万円
- 浄水器の改良 3校分 1校 5万円 小計15万円
- 予算合計 55万円

尚、2015-16年度事業費は現地にて「平成28年2月中旬」を予定しています。  
皆様のご参加をお願いします。

#### 過去の浄水器設置および式典状況

浄水器の取付式の様子  
ホーナーは目立派

ホーナーを飲んでみました

記念撮影

蛇口、フィルター確認

浄水器

区での給水

互賀会開催

給水

コートRCより感謝状

各ロータリークラブの皆様へ  
『暑い間、汚い水を飲み続けている  
子供たちの健康改善にぜひとも  
ご協力をお願いします』

平成27年5月2日  
大子ロータリークラブ  
国際奉仕委員長 小栗 眞史

## 11月はロータリー財団月間

### 出席報告 荒井孝典委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
55名	42名	13名	0名	1名	78.18%

### ニコニコボックス 青木英男副委員長

入金計 ¥12,000 累計 ¥845,000

大子ロータリークラブの大藤様、本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。 海老原会員

海老原会長、和久さん、お見舞いお礼状の宛名書きお疲れ様でした。 松崎会員

大藤さん、宜しくお願いします。 瀬戸会員

本日も越しの皆様方、ありがとうございます。また、大子RCの皆様卓話よろしくお願ひ致します。石井会員

出席委員会様、出張例会食ありがとうございます。 石塚(克)会員

11月25日は、ガバナー公式訪問です。お忘れなく。 染谷(秀)会員

早退します。 大澤会員

例会欠席しました。 五木田(益)・鯉沼・青木(英) 各会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員



# 11月はロータリー財団月間



平成 27 年 11 月 吉日

関係各位

国際ロータリー第 2820 地区  
ガバナーエレクト 白戸 仲久  
地区幹事 田島清太郎  
地区会計長 福田 一郎

## 国際ロータリー第 2820 地区ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度国際ロータリー第 2820 地区ガバナーエレクト事務所を開設し、次年度に向け準備活動に着手いたしました。今後何卒ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

名称: 白戸 仲久 ガバナーエレクト事務所

所在地: 〒306-0013 古河市東本町 1 丁目 3 番 10 号 ヒグチビル2F (つかもと書店隣)

連絡先: TEL 0280-23-3001 FAX 0280-33-7333

E-mail 16-17@rid2820.jp

事務局: 小林 静子・柳 加奈子

業務時間: 午前 10 時から午後 5 時まで 土日祝祭日は休業いたします

なお、当事務所は平成 28 年 7 月 1 日より、そのままガバナー事務所に移行する予定です。

